

## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局都市・住宅整備課  
担当課長名：角田 陽介

<b>事業名</b> 新郷ノ浦港線	<b>事業区分</b> 街路	<b>事業主体</b> 長崎県
<b>起終点</b> 自： <small>いきしごうのうらちようもとむらぶれ</small> 壱岐市郷ノ浦町本村触 至： <small>いきしごうのうらちようひがしぶれ</small> 壱岐市郷ノ浦町東触		<b>延長</b> L = 1,400m
<b>事業概要</b> 本路線は、外環状線的な性格を持つ道路で、既成市街地中心部の交通混雑の解消と新郷ノ浦港完成に伴う交通量の増加に対処する道路として期待されている。 道路改良 1,400m		
H9年度事業化	H6年度都市計画決定	H10年度用地着手
<b>全体事業費</b> 33億円		<b>事業進捗率</b> 63%
<b>計画交通量</b> 9,900台/日		<b>供用済延長</b> 0.3km
<b>費用便益分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.5 (残事業) 3.9	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 13/34億円 (事業費：12/33億円 維持管理費：1.3/1.3億円)
		<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 51/51億円 (走行時間短縮便益：57/57億円 走行費用減少便益：-4.7/-4.7億円 交通事故減少便益：-1.2/-1.2億円)
<b>事業の効果等</b> 本路線は、外環状線的な性格を持つ道路で、交通を分散させ、既成市街地中心部の交通混雑の解消と、新郷ノ浦港のアクセス道路として、同港完成に伴う交通量の増加に対処する道路として期待。		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 健全な市街地を形成するための基幹となる道路として、早期完成が熱望されている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 平成16年3月1日壱岐4町が合併し、新たに壱岐市となる。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 事業は現在63%、用地も88%進捗しているが、路線の起終点側にそれぞれ用地未契約者がおり、本格的工事（大型ブロック・トンネル）に着手できていない。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 用地未契約者に対しては、平成19年度内に用地問題を解決し、平成20年度より起終点部の工事（大型ブロック・トンネル）に入る予定。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 特になし		
<b>対応方針</b>	<b>事業継続</b>	
<b>対応方針決定の理由</b>	離島の幹線道路として、事業の必要性、重要性は高いと思われる。	
<b>事業概要図</b>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。